

# “地域創生”実践モデルがずらり 「田舎の力が未来をつくる！」

## 金丸弘美〈著〉

食総合プロデューサー、食環境ジャーナリストの金丸弘美氏はこのほど、書籍「田舎の力が未来をつくる―ヒト・カネ・コトが持続するロー

カルからの変革」(合同出版社)を発売。金丸氏が各地の新しい農業・観光ビジネスの実践者に深く取材し、国が主導するずっと以前から自発的に「地方創生」に取り組む実践モデルを紹介している。

取り上げたテーマをみると、農村観光や農家宿泊、グリーンツーリズム、インバウンド、ゲストハウスに加え、地域連携マーケティングや産官学協業の人材育成事業、食と6次産業、離島振興、再生可能エネルギーなど未来につながる事例が並ぶ。地域創生に向けて参考になる、実践地域の発想やノウハウがぎっしりと詰まっている。

第1章の「イタリアのアグリツーリズム」という産業」では、エミリア・ロマーニャ州を中心に同国の農村宿泊観光の先進事例を紹介。

第2章は「若者を惹きつけるために必要な発想の転換」。早くから国際交流を行ってきた長野県・川上村などを取り上げている。

第3章は「山間地の小さな村を外国人観光客につなげる方法」、第4章

は「成功する外国人観光客向けマーケティング」、第5章は「地域の元気を国内外に発信する生産者たち」。それぞれのテーマから新たな動きを紹介している。

第6章の「エンドユーザーを見据えた集約型の米づくり」では、茨城県龍ヶ崎市の横田農場や、石川県白山市で米づくりから惣菜、弁当、大福、レストラン運営まで行う「六星」に注目した。

第7章の「地域の環境、文化を活かして新たな価値を創造する」では、米国カリフォルニア州のナパ・バレーのスタイルを目指す静岡県掛川市の丸山製茶というお茶メーカーの最前線の取り組みにスポットを当てた。

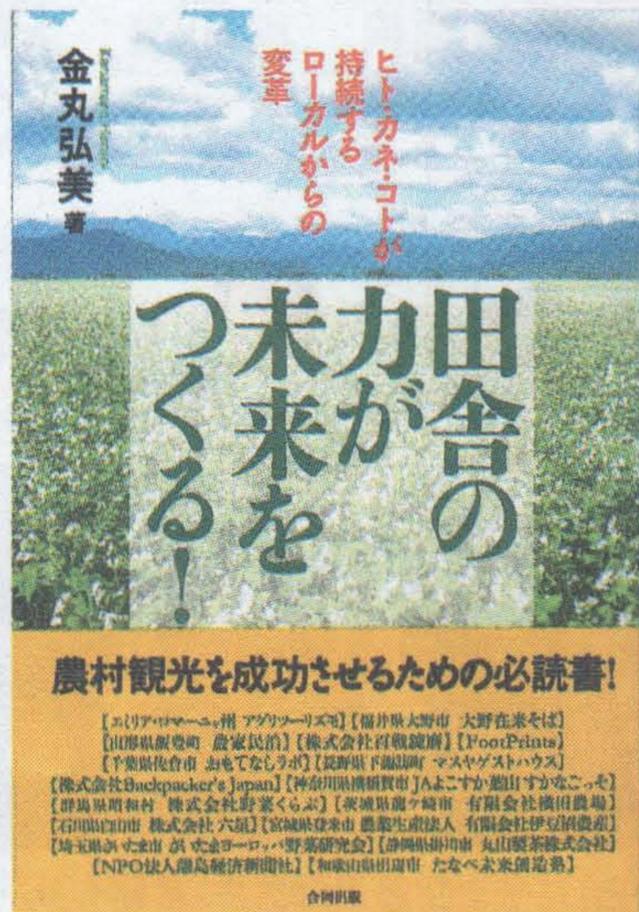
第8章は「自治体ぐるみで新しい地域ビジネスを創出する」。地元で活躍できる若い人たちが育てている和歌山県田辺市の「たなべ未来創造塾」の取り組みなどを紹介している。

四六判232ページ。本体

1600円(外税)。  
問い合わせ〆〆03  
(3294) 3506。

記念トークショー＆  
サイン会も予定

「田舎の力が未来をつくる！」の発売を記念して、「金丸弘美トークショー＆サイン会」が12月8日に開かれる。会場は東京都千代田区神田神保町の書泉グランデ7階。時間は午後7時から。トークショーのゲストには、中央大学法学部教授の工藤裕子氏が出席。定員は50人で、参加無料。



農村観光を成功させるための必読書!

【おひろアソビ】州 アグリツーリズム 【福井県大野市 大野在来そば】  
【山形県最上町 農家民宿】 【株式会社白根製菓】 【FootPrints】  
【千葉県佐倉市 おもてなしラボ】 【長野県下諏訪町 マスヤゲストハウス】  
【株式会社Backpacker's Japan】 【神奈川県横浜市 J.A.よこすか 葉山すかごこっけ】  
【群馬県利根町 株式会社野菜くらぶ】 【茨城県龍ヶ崎 有限会社横田農場】  
【石川県白山市 株式会社六星】 【宮城県仙台市 農産生産法人 有限会社伊豆の農産】  
【埼玉県さいたま市 株式会社アソビ】 【野原研究会】 【静岡県掛川市 丸山製茶株式会社】  
【NPO法人離島経済新聞社】 【和歌山県田辺市 たなべ未来創造塾】

合同出版